

平成30年度 医療安全管理の取組について

横浜市立3病院（市民病院、脳卒中・神経脊椎センター、みなと赤十字病院）の平成30年度における医療事故等やインシデントの件数及び医療安全の向上に向けた取組について、お知らせします。

1 一括公表の対象となる医療事故等（※1）の件数

平成30年度は、該当する案件はありませんでした。

	29年度	30年度	増 減
市民病院	0件	0件	0件
脳卒中・神経脊椎センター	0件	0件	0件
みなと赤十字病院	0件	0件	0件
計	0件	0件	0件

（※1）『横浜市医療局病院経営本部における医療事故等の公表に関する指針』の4医療事故等の公表基準（別添資料をご参照ください。）に基づき、誤った医療又は管理を行ったことが明らかであり、その行った医療又は管理に起因する医療事故等（患者に重大な結果が発生した医療事故を除く。）について、年1回一括して公表するものです。

2 インシデント（※2）報告件数

安全意識の向上に向けた啓発などに取り組んだ結果、インシデント報告件数は、ほぼ横ばいとなっています。

3病院合計の報告件数を割合別にみると、薬剤・輸血に関する事例が一番多く、次いで転倒・転落など療養上の場面における事例が多く報告されました。

今後も引き続き、インシデント報告に基づく事例検討などを通じて、各部門に対する注意喚起や情報提供に努めます。

	29年度	30年度	増 減
市民病院	3,737件	3,708件	△29件
脳卒中・神経脊椎センター	1,534件	1,415件	△119件
みなと赤十字病院	3,960件	3,971件	11件
計	9,231件	9,094件	△137件

※各病院における項目別インシデント報告の件数については、別添の病院別報告書をご参照下さい。

（※2）インシデントとは、医療に誤りがあったが、患者に実施される前に発見された事例や、誤った医療が実施されたが、患者への影響がなかった事例又は軽微な処置・治療を要した事例等をいいます。

これらのインシデント報告を分析することにより、転倒・転落や薬剤の誤飲等の医療事故を防止し、診療業務や感染防止対策などにおいて、安全管理の視点に立った業務改善を行っています。

（裏面あり）

3 主な医療安全の取組について

(1) 市民病院

①患者誤認防止に向けた重点的取組

「患者確認の注意強化年」をスローガンとし、患者誤認を防止するための対策について重点的に取り組みました。具体的には、注射確認、検体検査、輸血製剤のバーコード認証の実態調査を行ったほか、これまで複数のマニュアルに記載されていた患者確認の作業手順を一つにとりまとめ、職員に周知しました。

さらに、現場での抜き打ちチェックを実施し、取組の徹底を図りました。

②院内急変時の対応強化

昨年度、院内急変時対応部会のもとに設置した、救急診療科の医師や看護師等で構成するRR T (Rapid Response Team) の要請件数が55件/年となり、心肺停止に至る前の段階から積極的に介入して救命処置を行う取組を推進しました。

(2) 脳卒中・神経脊椎センター

①医療安全管理マニュアルの遵守

実態調査のため院内巡視を定期的実施し、リスクマネジャーにフィードバックしたほか、委員会における事例検討や院内ポスター掲示を行うなど、確認行為強化に向けた啓発を実施しました。さらに、全職員を対象に確認行為の実施状況に関する自己評価を実施し、課題の検証を行いました。

②医療安全対策委員会の附属専門チームの活動活性化

3つの専門チーム（救急サポート・呼吸サポート・モニターアラームコントロール）が組織横断的に活動を行い、救急カートの診療材料・薬剤の見直しや、講演・体験型のブースなどによる「医療安全ワークショップ」の開催を行ったほか、定期的なラウンドを実施し、マニュアルの遵守状況の確認を行いました。

(3) みなと赤十字病院

①医療安全の知識習得

通常の講習会のほかe-learning等も活用した研修会の開催を行うなど、職員の知識習得を促進しました。特に、院内急変患者への対応システム（コードブルーシステム）に関する研修会を実施することで、医療職以外の職員からの要請が増加しており、研修の成果が上がっています。

②安全な医療の提供

与薬にかかわる全行程や職種別の対策を講じ、指示の標準化から与薬時の確認方法までを見直し、マニュアル改定を行ったほか、ドレーン・チューブ抜去、転倒・転落の要因である、「せん妄」について多職種連携による対策チームを発足し、活動を開始しました。

お問合せ先		
医療局病院経営本部病院経営課長	門林 宏英	TEL 045-671-4816
市民病院医事課長	木村 洋	TEL 045-331-1490
脳卒中・神経脊椎センター医事課長	安間 猛	TEL 045-753-2659

平成 30 年度 医療安全管理の取組について

令和元年 9 月 20 日

横浜市医療局病院経営本部

目 次

1 市民病院	1
(1) 主な改善項目	2
(2) 安全管理に係る委員会等の活動状況	5
(3) 安全管理研修等の開催状況	8
(4) インシデント報告の状況	11
2 脳卒中・神経脊椎センター	12
(1) 主な改善項目	13
(2) 安全管理に係る委員会等の活動状況	14
(3) 安全管理研修等の開催状況	16
(4) インシデント報告の状況	19
3 みなと赤十字病院	20
(1) 主な改善項目	21
(2) 安全管理に係る委員会等の活動状況	22
(3) 安全管理研修等の開催状況	24
(4) インシデント報告の状況	27

市民病院

取組の概要

平成 30 年度は、「患者確認の注意強化年」をスローガンとして職員に宣言し、患者誤認を防止するための対策を重点的に取り組みました。4 月～5 月には、患者間違い事例について分析部会を開催し、その内容を報告し、改善に向けた対策を周知しました。7 月～10 月には、注射確認、検体検査、輸血製剤のバーコード確認の実態調査を実施しました。当院の既存のマニュアルでは、看護手順、輸血マニュアル、安全管理マニュアル、電子カルテ操作マニュアルなどを合わせて確認しないと十分な患者確認の作業手順ができない状況でしたので、11 月に患者確認の作業手順・注意事項を 1 冊にまとめた「採血・注射・輸血の医療行為に対する各認証方法」マニュアルを看護部と共に作成し、安全管理対策委員会の承認を得て周知しました。また、看護師以外にも、医師や臨床工学技士等も採血・注射・輸血等を実施するため、このマニュアルの中から手順の部分抜粋し、安全管理マニュアルに掲載しました。12 月～1 月には、ネームバンド誤装着事例の事例検討・周知を行い、ネームバンド発行依頼票を改訂し、ネームバンド発行時に患者誤認しにくいシステムに改善しました。さらに、患者確認時にネームバンドを確認しやすいよう、ネームバンドの印字拡大を行いました。2 月～3 月には、患者確認の抜き打ちチェックを実施しました。このような具体的な取り組みを継続して行うことで、患者の安全確保のために院内全体で患者確認やその他の確認行為を実施する風土を醸成していくことが重要と考えています。

その他の取組みですが、平成 30 年度の診療報酬改定により新設された「医療安全対策 地域連携加算」に対して、連携する 2 病院との間で相互評価を行いました。先の患者確認の抜き打ちチェックは、他院で行われていた取組みを参考にし、当院でも実施することとしました。

平成 29 年度に安全管理対策委員会のもとに設置した院内急変時対応部会では、Rapid Response Team (RRT) が実働チームとして活動しています。平成 30 年度の RRT の要請件数は 55 件/年でした。当院で以前から機能している CAC (Cardiac Arrest Call) の件数は、27 件/年であり、RRT 要請が CAC を上回る活動を行い、多くの患者や医療従事者が、RRT により助けられました。

(1)主な改善項目

市民病院

	検討項目	改善内容
安全管理マニュアル	入院患者の不眠時及び不穏時の推奨処方と対応(院内共通対応)の改訂	認知症・せん妄サポートチームから、次の3点に対して提案あり、安全管理対策委員会で承認され改訂した。 (1)不眠時推奨処方:「せん妄ハイリスク」の有無による見直し (2)不穏時推奨処方:「せん妄」「せん妄以外の理由による興奮」の場合の区別をなくした改訂 (3)これらの改訂に伴う推奨処方の解説を改訂
	「医療事故調査制度に関する院内の対応」に一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援センターへの報告事項を追加	平成29年度の立入検査時に、「一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援センターへの報告事項」を追記したほうが良いと指摘があり、安全管理マニュアル「医療事故調査制度に関する院内の対応」に追加し、安全管理対策委員会で承認された。
	「インフォームドコンセント」の指針に「死亡を含めた」の文言を追加	平成29年度の立入検査時に、「インフォームドコンセント」の指針に危険性の説明内容として、「死亡を含めた」の文言を入れるように指摘があり追加した。安全管理対策委員会で承認され改訂した。
	「患者および第三者における暴力威嚇行為への対応」マニュアル改訂	院内で発生した事例の振り返りから、マニュアルに暴力威嚇行為の対象を記載するよう提案され、次の2点の改訂をし、安全管理対策委員会で承認された。 (1)表題に「等」を入れ、「暴力威嚇行為等・・・」とした。 (2)「暴力威嚇行為とは、身体的暴力、暴言、ハラスメント、悪質クレームなど、あらゆる暴力を含みます。」と明記した。
	新規マニュアル「採血実施・注射実施・輸血実施プロセスにおける患者と医療行為の確認」作成	既存のマニュアルは、看護手順、輸血マニュアル、安全管理マニュアル、電子カルテ操作マニュアルなど、様々なマニュアルを合わせてみないと、患者確認の作業手順が完全にできない状況だった。このため、異型輸血事例の分析部会で出た対応策や確認事項の具体的な内容を盛り込み、患者確認の作業手順・注意事項をまとめた看護手順を看護部と共に作成した。この手順の中から、必要な部分を抜粋し、看護師同様に医師やコ・メディカルの方々も、バーコードでの確認を確実に実施し、患者間違いを防止するための手順書を作成した。
	新規マニュアル「諸検査～報告の確認～患者への説明の流れ」作成	画像検査、検体検査、病理検査などの報告に気づかなかったり、遅れたことにより、治療が遅れるなどの他院のインシデントに基づき、画像検査結果で緊急性の高い事例については、読影した放射線科医師が主治医に電話で情報提供を行っており、平成29年度に画像診断部マニュアルに明記した。 平成30年度は、日本医療機能評価機構からも、「画像検査～画像検査診断報告書の確認～患者への説明」の流れを整理し、業務工程を確立するように求められていた(医療安全情報No.138)ことから、現在行っていることをフローにまとめ、安全管理マニュアルに挿入した。 検体検査、病理検査においても、同様に検査～患者説明までの流れをフローにし、安全管理マニュアルに挿入し、当院での報告の流れを明確にし、安全管理対策委員会で承認された。
院内急変時対応のマニュアル改訂	院内急変時対応部会において、RRTの活動を評価し、持参物品等の見直しをするとともに、新規導入した8階フロアの救護マットの管理、正面玄関でのRRT記録用紙の管理についてマニュアルに追加し、安全管理対策委員会で承認された。	

	検討項目	改善内容
安全管理マニュアル	低血糖マニュアルの改訂	*印の注釈を見落とし、インシデントになったという事例から、注釈の内容を本文に入れ、見落としがないように改訂し、安全管理対策委員会で承認された。
	医療安全管理指針の改訂	医療安全管理指針の医療安全対策加算に係る「医療安全管理者、医療安全管理部門の役割」に、診療報酬の施設基準と同じ内容が入るように改訂し、安全管理対策委員会で承認された。
	透析液サンプル採取用のシリンジをグリーンに統一し、マニュアルに追加	透析液サンプル採取用のシリンジに関する約束事がなかったため、グリーンシリンジに統一し、マニュアルに追加した。
運用	血液型検査2回実施の徹底	血液検査採血時の患者取り違えが発生し、「異なる時点での2回の血液型採血」後に確定血液型として運用することを徹底した。
	採血管ラベル文字サイズ変更	採血管ラベルの患者氏名が小さくて読みにくいとの意見があり、ラベルプリンタで印字される採血管ラベルの文字サイズを大きくした。(9文字表示➡7文字表示)
システム	食物禁忌入力画面のコメント変更	食物禁忌の入力は、フリーコメントに記入しても、「拡張」キーを押して選択しなければ、部門システムに反映されないことを周知するために、コメント内容を変更。 「上記以外の食物禁忌は拡張キーをクリックしてください」 ➡「禁忌追加は『拡張』選択。下欄は食事オーダー反映せず」
	「リストバンド発行依頼表兼送付票」の改訂	リストバンド誤作成防止目的で、リストバンド再発行時の「リストバンド発行依頼表兼送付票」に旧リストバンドを貼付するように改訂した。
	リストバンドの生年月日の文字を大きくした	リストバンド装着時や患者確認時に読みやすく、患者誤認を防止する目的で、リストバンドの生年月日の文字を大きくした。(10.5ポイント➡14ポイント)
情報共有	患者相談窓口での相談対応報告を、日報回覧による報告で受けることとした	関東信越厚生局による適時調査で、日々の医療安全に関する患者からの相談の有無を把握するようにと、口頭での指摘があった。このため患者サポートセンターで作成した日報を医療安全管理室にも報告することとし、医療安全管理室で医療安全に関わる内容の相談があったかを確認し、医療安全管理室の日記に記載するルートを作成した。
取り組み	「患者確認の注意強化年」としての取り組み	一般注射薬剤の到着から実施までのバーコード認証による確認方法を院内巡視による現状調査を実施し、安全管理対策委員会、セーフティマネージャ会議、看護師長会で報告・注意喚起した。
		電子カルテによるデータから、検体検査のバーコード認証の実態調査を実施し、安全管理対策委員会、セーフティマネージャ会議、看護師長会で報告・注意喚起した。
		電子カルテによるデータから、輸血製剤バーコード認証の未実施の理由調査を実施し、安全管理対策委員会、セーフティマネージャ会議、看護師長会で報告・注意喚起した。

	検討項目	改善内容
取 り 組 み	アドレナリン筋注使用量説明カードの作成	アナフィラキシーショック発生時に速やかにどの医療従事者でもアドレナリン筋注がスムーズにできるよう、救急カート内にアドレナリン注の用量・用法を記載した説明書を各救急カートに設置し、周知した。
	手術器材・機器の準備調査	滅菌の遅れ等により手術開始時間が遅れるなどの影響がないよう、手術器材・機器の準備調査を実施し、報告した。医師から手術室運営委員会でもその結果を報告され、各科で同じ器材を使う手術が続かないような工夫をするとの回答があった。
	胃管の位置確認方法の調査	胃管の位置確認方法のカルテ調査を行った。危険とされている、気泡音による確認が多いことがわかり、安全管理マニュアルを遵守することを注意喚起した。
物 品	ホットパックを院内統一の物に交換	日本医療機能評価機構から「ホットパック使用時の熱傷」について周知があった。当院での実態を確認する目的で、院内巡視を行い、当院でのホットパック、清拭用タオル、湯たんぼなどによる温罨法について確認をした。この結果、添付文書通りに温めていなかったり、カバーが薄手だったりした。このため、院内で統一したホットパックに変更し、添付文書通りの使用方法を行うように指導した。
	8階フロア救護マット新設	院内急変時対応部会で、8階フロアで発生した事例の振り返りから、エレベータにストレッチャーが載らないため、救護マットが必要との意見があり、新設した。

(2)安全管理に係る委員会等の活動状況

市民病院

開催回	開催日	主な議題
第1回	平成30年4月18日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度 医療安全管理関係名簿 2 患者相談窓口の状況報告 3 呼吸療法サポートチーム報告 4 医療機器安全管理部会報告 5 院内急変時対応部会報告 6 3月のインシデント報告 7 平成29年度委員会出席実績、必修研修受講実績 8 日本医療機能評価機構 医療安全情報 No.136 9 セーフティマネージャ会議要項 10 安全管理マニュアル改訂(画像診断部領域に関する安全管理) 11 平成30年度 安全管理活動計画 12 平成28年度 第1回【必修研修】安全管理全体研修「当院の安全対策」提示知識・技術研修「BLS研修」実施計画提示
第2回	平成30年5月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1 患者相談窓口の状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 院内急変時対応部会報告 4 4月のインシデント報告 5 日本医療機能評価機構 医療安全情報 No.137 6 安全管理マニュアル改訂(転倒・転落に関する安全対策) 7 入院患者の不眠時及び不穏時の推奨処方と対応(院内共通対応) 8 安全管理マニュアル改訂(医療事故調査制度に関する院内の対応) 9 分析部会報告、対応策 10 不適合輸血防止のための緊急通達 11 平成30年度安全管理研修計画
第3回	平成30年6月20日	<ol style="list-style-type: none"> 1 患者相談窓口の状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 院内急変時対応部会報告 4 医薬品安全管理部会報告 5 5月のインシデント報告 6 院内巡視報告(急変時対応フローシート等の設置状況) 7 日本医療機能評価機構 医療安全情報 No.138 8 救命救急センターにおけるVA-ECMO導入に関する振り返り 9 入院患者の不眠時及び不穏時の推奨処方と対応(全科共通指示コメント内容) 10 医療安全ニュースレター第76号訂正:検査室での輸血確認 11 安全管理マニュアル改訂(インフォームドコンセント) 12 安全管理対策委員会時間変更のお知らせ
第4回	平成30年7月18日	<ol style="list-style-type: none"> 1 患者相談窓口の状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 院内急変時対応部会報告 4 医療機器安全管理部会報告 5 6月のインシデント報告と事例報告 6 院内巡視報告(ホットパック等の使用状況) 7 市立3病院医療安全報告会 8 医療事故の再発防止に向けた提言 第4号 9 日本医療機能評価機構 医療安全情報 No.139

開催回	開催日	主な議題
第5回	平成30年9月19日	<ol style="list-style-type: none"> 1 患者相談窓口の状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 院内急変時対応部会報告 4 7、8月のインシデント報告 5 院内巡視報告(一般薬剤注射剤の確認) 6 平成30年度「患者確認の注意強化年」取り組み報告 7 第1回【必修】安全管理全体研修受講結果 8 第2回【必修】安全管理全体研修開催日程 9 中心静脈カテーテルに関する安全管理研修開催日程 10 日本医療機能評価機構 医療安全情報 No.140、141
第6回	平成30年10月17日	<ol style="list-style-type: none"> 1 患者相談窓口の状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 院内急変時対応部会報告 4 医薬品安全管理部会報告 5 9月のインシデント報告 6 平成30年度「患者確認の注意強化年」取り組み報告 7 医療事故の再発防止に向けた提言 第5号、第6号 8 日本医療機能評価機構 医療安全情報 No.142 9 検査結果の報告と患者への説明流れ 10 医薬品の安全使用のための業務手順書
第7回	平成30年11月21日	<ol style="list-style-type: none"> 1 患者相談窓口の状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 院内急変時対応部会報告 4 平成30年4月～9月RRT活動報告 5 10月のインシデント報告 6 採血ラベルレイアウト修正について 7 医療安全対策地域連携 相互訪問の実施について 8 日本医療機能評価機構 医療安全情報 No.143、144 9 「諸検査～報告の確認～患者への説明」の流れ 10 採血・注射・輸血の医療行為に対する各認証方法 11 食物アレルギー関連の栄養部からの回答について
第8回	平成30年12月19日	<ol style="list-style-type: none"> 1 患者相談窓口の状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 院内急変時対応部会報告 4 医療機器安全管理部会報告 5 11月のインシデント報告 6 患者確認に関するインシデント 7 「採血・注射・輸血の医療行為に対する各認証方法」掲載場所 8 事例検討会報告(ネームバンド装着事例) 9 安全管理マニュアル改訂(院内急変時対応) 10 安全管理マニュアル改訂(低血糖時マニュアル) 11 食物禁忌入力画面のコメント変更

開催回	開催日	主な議題
第9回	平成31年1月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1 患者相談窓口の状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 院内急変時対応部会報告 4 12月のインシデント報告と事例報告 5 患者既往による禁忌と薬剤指示・投与インシデント 6 院内巡視報告(口頭指示を受けた際の対応) 7 入院患者リストバンド発行依頼兼送付票、リストバンド印字拡大について 8 日本医療機能評価機構 医療安全情報 No.145 9 安全管理マニュアル第15版改訂内容確認 10 2019年度版ポケットマニュアル改訂内容確認
第10回	平成31年2月20日	<ol style="list-style-type: none"> 1 患者相談窓口の状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 院内急変時対応部会報告 4 1月のインシデント報告 5 患者の自己管理薬の服用に関するインシデント 6 電子カルテ患者基本の食物禁忌入力画面コメント変更 7 アナフィラキシー発生時のアドレナリン筋注「使用量」説明カード 8 医療安全対策地域連携加算 相互訪問について 9 手術器材の準備調査結果の報告・検討結果 10 日本医療機能評価機構 医療安全情報 No.146 11 安全管理マニュアル第15版改訂内容
第11回	平成31年3月20日	<ol style="list-style-type: none"> 1 患者相談窓口の状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 院内急変時対応部会報告 4 2月のインシデント報告 5 診療時・ベッドサイドでの患者確認に関するインシデント 6 胃管の位置確認方法の調査結果 医療事故の再発防止に向けた提言 第7号 7 日本医療機能評価機構 医療安全情報 No.147

(3)安全管理研修等の開催状況

医療安全研修会

市民病院

開催月	内容	対象職種	参加職種	合計	
4月	輸液ポンプ・シリンジポンプ～事故防止と使用手順～	看護師・助産師 (新採用)	看護師・助産師	59名	59名
	インスリン取扱い	新採用看護師	看護師・助産師	61名	61名
	抗がん剤の取り扱いと投与方法	新採用看護師	看護師・助産師	55名	55名
5月	第1回【必修】安全管理全体研修 当院の安全対策(2回)	全職種	医師 研修医 看護師・助産師 薬剤師 臨床検査技師 診療放射線技師 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 臨床工学技士 栄養士 事務	10名 2名 116名 6名 14名 19名 11名 1名 3名 3名	185名
	高エネルギーデバイス	医師	医師	18名	18名
6月	第1回【必修】安全管理全体研修 当院の安全対策(7回)	全職種	医師 研修医 看護師・助産師 薬剤師 臨床検査技師 診療放射線技師 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 臨床工学技士 栄養士 事務 他	11名 3名 100名 17名 21名 17名 12名 1名 1名 73名 10名	266名
	医薬品安全管理研修 「災害拠点病院における安全な医薬品管理」	全職種	看護師・助産師 薬剤師 診療放射線技師 臨床検査技師 事務	3名 22名 1名 2名 1名	29名
	人工呼吸器アドバンスⅠ	研修医・臨床工学技士	研修医・臨床工学技士	29名	29名
	人工呼吸器ベーシックⅠ	看護師・助産師	看護師・助産師	7名	7名
	人工呼吸器ベーシックⅡ	看護師・助産師	看護師・助産師	2名	2名
	7月	第1回【必修】安全管理全体研修 当院の安全対策(テスト)	全職種	医師 研修医 看護師・助産師 薬剤師 臨床検査技師 診療放射線技師 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 臨床工学技士 栄養士 事務 他	154名 41名 474名 18名 19名 3名 1名 13名 5名 60名 10名
麻薬・化学療法		新採用看護師	看護師・助産師	55名	55名
人工呼吸器ベーシックⅠ		看護師・助産師	看護師・助産師	37名	37名
人工呼吸器ベーシックⅡ		看護師・助産師	看護師・助産師	9名	9名
MRI研修「安全なMRI検査を実施するために」		看護師・助産師 医療技術職	看護師・助産師 診療放射線技師	17名 4名	21名

開催月	内容	対象職種	参加職種	合計	
8月	MRI研修「安全なMRI検査を実施するために」	医師 看護師・助産師 医療技術職	研修医 看護師・助産師 臨床工学技士	14名 10名 2名	26名
	医療機器安全管理研修(除細動器)	研修医	研修医	29名	29名
9月	人工呼吸器ベーシックⅠ	看護師・助産師	看護師・助産師	10名	10名
	人工呼吸器ベーシックⅡ	看護師・助産師	看護師・助産師	2名	2名
10月	中心静脈カテーテルに関する安全管理	研修医、医師、 看護師・助産師	研修医	11名	11名
	人工呼吸器ベーシックⅠ	看護師・助産師	看護師・助産師	3名	3名
	人工呼吸器ベーシックⅡ	看護師・助産師	看護師・助産師	8名	8名
11月	第2回【必修】安全管理全体研修 医療安全推進週間講演会 職員間コミュニケーション	全職種	医師 看護師・助産師 薬剤師 臨床検査技師 診療放射線技師 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 臨床工学技士 栄養士 事務	7名 44名 2名 2名 1名 5名 1名 3名 4名	69名
	人工呼吸器アドバンスⅡ	研修医・臨床工学技士	研修医・臨床工学技士	9名	9名
12月	第2回【必修】安全管理全体研修 医療安全推進週間講演会(ビデオ視聴研修) 職員間コミュニケーション(9回)	全職種	医師 研修医 看護師・助産師 薬剤師 臨床検査技師 診療放射線技師 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 臨床工学技士 栄養士 事務 他	14名 0名 63名 11名 24名 32名 17名 0名 21名 60名 3名	245名
	安全衛生研修 「医療現場におけるアンガーマネジメント講座 ～怒りと上手につきあう自分になろう～」	全職種	医師、看護師・助産師、臨床 検査技師、診療放射線技師、 理学療法士・作業療法士・言語 聴覚士、臨床工学技士、事務	33名	33名
1月	中心静脈カテーテルに関する安全管理	研修医、医師、 看護師・助産師	研修医	3名	3名
	第2回【必修】安全管理全体研修 職員間コミュニケーション(テスト研修)	全職種	医師 研修医 看護師・助産師 薬剤師 臨床検査技師 診療放射線技師 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 臨床工学技士 栄養士 事務 他	152名 46名 553名 26名 25名 5名 2名 14名 6名 57名 16名	902名
2月	医薬品安全管理研修 「医療用麻薬の適正使用」 —処方の際とその後の対応をめぐって—	全職種	看護師・助産師 薬剤師 臨床検査技師	14名 22名 2名	38名
通年	静脈注射研修(4月、6月、8月、11月、2月)	看護師・助産師	看護師・助産師	32名	32名
合計				3051名	

1次救命処置院内講習会

開催月	内容	対象職種	参加職種	合計	
通年	新採用看護職員BLS研修(7回) 5月(2回)、6月、7月、8月、9月、10月	看護師・助産師 (新採用)	看護師・助産師	56名	56名
	看護補助者BLS研修(6回) 7月、9月、10月、11月、12月、1月	看護補助者	看護補助者	9名	9名
	BLS研修(25回) 毎月	全職種	医師 研修医 看護師・助産師 診療放射線技師 臨床検査技師 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 臨床工学技士 事務	2名 11名 129名 5名 10名 8名 4名 20名	189名
			合計	254名	

オリエンテーション(新採用等受け入れ時研修)

開催月	内容	対象職種	参加職種	合計	
通年	安全管理体制とリスクマネジメント(13回) 4月、5月、7月、9月、10月、11月、3月	全職種	医師・研修医 看護師・助産師 薬剤師 診療放射線技師 臨床検査技師 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 臨床工学技士 事務	109名 80名 2名 6名 3名 5名 2名 28名	235名
			合計	235名	

(4)インシデント報告の状況

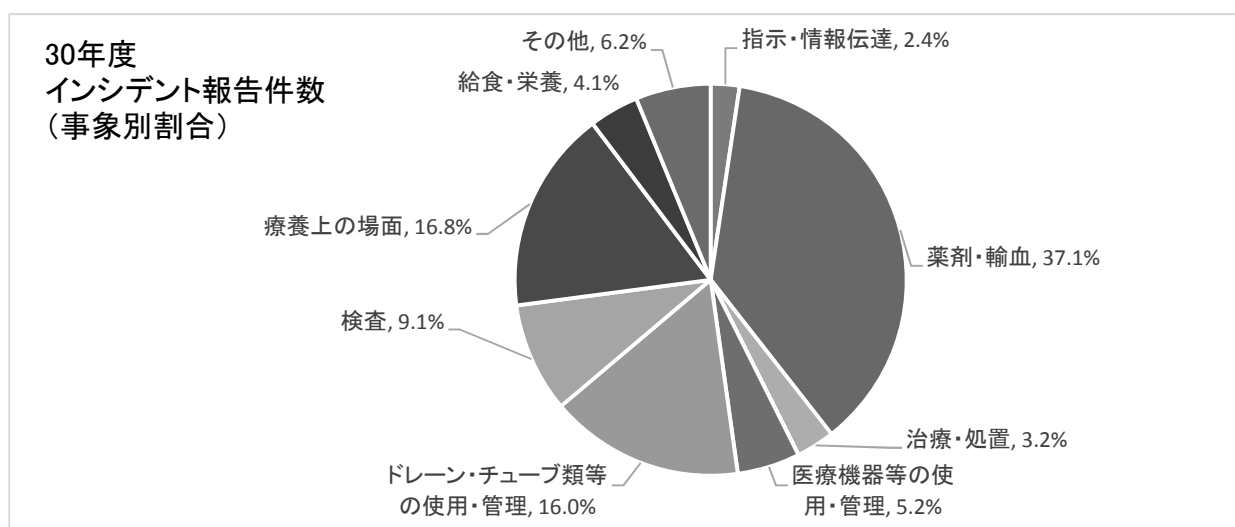
市民病院

30年度 延べ入院患者 200,286人、延べ外来患者数 341,405人

29年度 延べ入院患者 202,642人、延べ外来患者数 337,475人

(件数)

インシデント報告件数	29年度	30年度	増減	30年度 構成比
		3,737 件	3,708 件	▲ 29
指示・情報伝達	98 件	88 件	▲ 10	2.4%
薬剤・輸血	1,423 件	1,374 件	▲ 49	37.1%
(内訳)				
処方	37 件	76 件	39	2.0%
調剤・製剤管理等	50 件	80 件	30	2.2%
与薬(注射・点滴・中心静脈注射)	535 件	495 件	▲ 40	13.3%
与薬(内服薬)	609 件	518 件	▲ 91	14.0%
与薬(その他)	62 件	66 件	4	1.8%
麻薬	106 件	120 件	14	3.2%
輸血・血液製剤	24 件	19 件	▲ 5	0.5%
治療・処置	154 件	118 件	▲ 36	3.2%
医療機器等の使用・管理	202 件	192 件	▲ 10	5.2%
ドレーン・チューブ類等の使用・管理	555 件	595 件	40	16.0%
検査	336 件	336 件	0	9.1%
療養上の場面	597 件	623 件	26	16.8%
(内訳)				
転倒・転落	429 件	427 件	▲ 2	11.5%
その他	168 件	196 件	28	5.3%
給食・栄養	133 件	152 件	19	4.1%
その他	239 件	230 件	▲ 9	6.2%



【30年度インシデント報告における職種別割合】

看護師・助産師	86.0%
医師	2.8%
薬剤師	1.9%
その他	9.3%
合計	100.0%

2 脳卒中・神経脊椎センター

取組の概要

平成 30 年度は、「1 医療安全管理マニュアルを遵守する」、「2 インシデント事例を共有し、医療安全行動を推進する」、「3 医療安全に関する教育研修の実施と医療安全情報の周知を行う」、「4 安全管理対策委員会附属専門チームの活動が機能する」の 4 項目を目標に取り組みました。

医療安全管理マニュアルの遵守状況を把握するため、院内巡視を定期的に行い実施し、リスクマネジャーにフィードバックしています。また、巡視時に散見される酸素ボンベの圧抜き・酸素流量計の取扱いの不備については、臨床工学技士がミニレクチャーを実施しました。確認行為の実施状況については、インシデント事例から、看護部の委員会を通じて、事例検討・ポスター掲示を行い、確認行為強化週間を設け啓発活動を行いました。1 月～2 月に全職員を対象とした「確認行為」の自己評価を実施しました。

インシデント事例については、患者影響レベルの高い事例や部門をまたがる事例等について安全管理対策委員会やリスクマネジメント部会で報告し、改善策の共有を図りました。

医療安全に関する教育研修については、院内の全職員が医療安全研修に年 2 回以上参加できるように、本研修の DVD 視聴によるフォローアップ研修を 1 研修につき 25 回程度設けました。これにより、研修参加率 100%を保持することができました。常勤・非常勤を問わず医療安全活動推進のために、医療機器関連では「車椅子の構造と操作上の注意点」、施設設備については「医療用ガスの知識と安全管理方法」の研修を実施するとともに、院内ポータルの掲示板などで随時周知しています。

安全管理対策委員会の附属専門チームは、組織横断的な活動を安定して行っています。救急サポートチーム (EST) は、救急カートの診療材料・薬剤の見直し、BLS の考え方・運用を整理しました。呼吸サポートチーム (RST) は、講演や体験型のブースを設け「医療安全ワークショップ」を 12 月の全国医療安全週間に開催しました。モニターアラームコントロールチーム (MAC チーム) は 2 週に 1 度の定期的なラウンドを実施しマニュアルの遵守状況の確認を行っています。

平成 30 年度は、医療安全対策地域連携加算新設に伴い、連携施設 (横浜市立大学附属市民総合医療センター、沖縄徳洲会葉山ハートセンター) との訪問審査・検討会を実施し、情報共有・課題の検討を行いました。

(1) 主な改善項目

脳卒中・神経脊椎センター

	改善項目	改善内容
基準 (危機管理・薬剤)	救急カート 使用点検状況の確認	・救急カート22台の設置・点検方法を確認した。 従来外来看護師が担当していたリハビリテーション部配置の救急カートの点検について、看護師から点検方法を説明指導し、リハビリテーション部職員が担当することとした。
	救急カートの 医薬品・物品の管理	・救急カート内の物品・薬剤の使用状況を確認し、配置数の変更および採血管、ストップウォッチを設置した。
基準	死亡確認後の フロー図の作成	・患者死亡確認後の対応・書類等を整理し、フロー図を作成した。
	解剖に関する フロー図の作成	・患者死亡時の運用に併せ、病理解剖について整理し、書類についても電子化した。(「病理解剖承諾書」「解剖依頼書」)
	「転倒転落リスクアセスメント ツール」の改訂	・平成29年8月～平成30年1月までの6ヶ月間のデータを検証し、「転倒・転落アセスメントツール」の改定を行った。
	新規説明・同意書の作成	・整形外科(膝関節)の機能拡大に伴い「高位脛骨骨切り術説明・同意書」「高位脛骨骨切り術後抜釘術説明・同意書」「人工膝関節全置換術」「人工膝関節全置換術(RA)」を作成した。
	MRI問診票の改訂	インシデント事例から、MRI問診票を外来患者用・入院患者用に変更した。
基準 (マニュアル)	第4版安全管理 ポケットマニュアルの作成	・安全管理対策マニュアル・感染対策マニュアルの変更に伴い、安全管理ポケットマニュアルを更新した。緊急時の外部への連絡先を追加した。
	医療安全管理 マニュアルの更新	・医薬品・医療機器・画像診断部の内容を変更した。薬剤確認行為の5Rを6Rに(目的を追加)変更した。
医療機器	新規・更新の医療機器についての周知	・フットポンプ更新に伴い、簡易取扱い説明書を作成・設置した。
	AEDの運用について整理	・インジケータ表示×の場合は故障と判断し、使用しない事を決定・周知した。
安全教育	BLS講習会の運用の整理	当院正規職員を対象に、3年ごとに受講とし、令和元年度・令和2年度は看護部、令和3年度は医師・リハビリテーション部・検査部・薬剤部・画像診断部の受講とした。
	日本医療安全調査機構 「医療事故の再発防止に向けた提言」の活用	・全職員への情報提供のため、院内ポータルに掲載した。

(2)安全管理に係る委員会等の活動状況

脳卒中・神経脊椎センター

開催回	開催日	主 な 議 題
第1回	平成30年4月11日	1 医療安全管理室 メンバー紹介 2 平成30年度 安全管理対策委員会委員・開催予定日・要綱確認 3 平成30年度 リスクマネジメント部会メンバー 4 平成30年3月および平成29年度インシデント報告 5 平成30年3月 医薬品点検結果報告 6 電子カルテ更新に伴う、インシデント事例について 7 総合相談窓口への要望・苦情等件数 8 医療事故調査制度に係る「死亡事例」報告(平成30年3月1日～3月31日) 9 院内ラウンド報告 10 平成30年度医療安全管理活動目標・医療安全研修計画 他 医療安全管理・感染対策マニュアルの更新について
第2回	平成30年5月9日	1 4月インシデント報告件数 2 4月医薬品点検結果報告 3 医療事故調査制度に係る「死亡事例」報告(平成30年4月1日～4月30日) 4 総合相談窓口への要望・苦情等件数 5 安全ラウンド実施報告 6 説明・同意書新規作成 「高位脛骨骨切り術 説明・同意書」 「高位脛骨骨切り術後抜釘術 説明・同意書」 「人工関節全置換術」 「人工関節全置換術(RA)」 7 安全管理対策委員会付属チーム活動計画(EST、RST、MACチーム) 8 「へパリンロック」から「生食ロック」への移行について
第3回	平成30年6月13日	1 5月インシデント報告件数 2 5月医薬品点検結果報告 3 3b事例報告 4 医療事故調査制度に係る「死亡事例」報告(平成30年5月1日～5月31日) 5 総合相談窓口への要望・苦情等件数 6 病室・汚物室・食堂等の窓の開放制限について 7 第2回医療安全研修開催について 8 「気管切開術」に関する説明・同意書の変更について 9 市立3病院医療安全報告会 10 第1回医療安全・感染・薬剤・医療機器安全管理研修出席状況報告
第4回	平成30年7月11日	1 6月インシデント報告件数 2 6月医薬品点検結果報告 3 総合相談窓口への要望・苦情等件数 4 医療事故調査制度に係る「死亡事例」報告(平成30年6月1日～6月30日) 5 院内ラウンド報告(6月25日) 6 患者死亡確認時のフロー図について 7 日本医療安全調査機構「医療事故の再発防止に向けた提言」について
第5回	平成30年9月12日	1 7・8月インシデント報告件数 2 7・8月医薬品点検結果報告 3 総合相談窓口への要望・苦情等件数 4 医療事故調査制度に係る「死亡事例」報告(平成30年7月1日～8月31日) 5 院内ラウンド報告(7月23日) 6 説明・同意書新規作成 「椎間板酵素注入療法説明・同意書」 7 第2回医療安全管理研修について 8 転倒・転落アセスメントツールについて 9 医療安全対策加算1 医療安全対策地域連携加算1取得について 10 身体抑制について 11 医療法第25条第1項の規定に基づく立ち入り検査について

開催回	開催日	主な議題
第6回	平成30年10月10日	1 9月インシデント報告件数 2 9月医薬品点検結果報告 3 総合相談窓口への要望・苦情等件数 4 医療事故調査制度に係る「死亡事例」報告(平成30年9月1日～9月30日) 5 医療安全ラウンド報告 6 立入検査(医療監視)について 7 第1回医療安全・感染・医薬品・医療機器安全管理研修実施報告 8 第2回感染・医薬品・医療機器安全管理研修開催について 9 救急カートの配置薬について
第7回	平成30年11月14日	1 10月インシデント報告件数 2 10月医薬品安全管理点検結果 3 3b事例報告 4 総合相談窓口への要望・苦情等件数 5 医療事故調査制度に係る「死亡事例」報告(平成30年10月1日～10月31日) 6 安全管理ポケットマニュアル改定について 7 医療安全対策加算1医療安全対策地域連携加算1訪問日について 8 立ち入り検査結果報告
第8回	平成30年12月12日	1 11月インシデント報告件数 2 11月医薬品安全管理点検結果 3 総合相談窓口への要望・苦情等件数 4 医療事故調査制度に係る「死亡事例」報告(平成30年11月1日～11月30日) 5 救急カート物品の追加・変更について 6 医療安全ラウンド実施報告 7 ペースメーカー・除細動器装置等装着患者に対する画像検査について 8 確認行為のアンケートについて 9 手術室借用機器の運用について
第9回	平成31年1月9日	1 12月インシデント報告件数 2 12月医薬品点検結果報告 3 総合相談窓口への要望・苦情等件数 4 医療事故調査制度に係る「死亡事例」報告(平成30年12月1日～12月31日) 5 医療安全ラウンド実施報告 6 医療安全対策加算1医療安全対策地域連携加算1訪問結果について 7 「確認行為のアンケート」について 8 AEDインジケータの表示について
第10回	平成31年2月14日	1 1月インシデント報告件数 2 1月医薬品点検結果報告 3 インシデント報告 インシデント事例報告(MRへの吸着)、3b事例報告 4 総合相談窓口への要望・苦情等件数 5 医療事故調査制度に係る「死亡事例」報告(平成31年1月1日～1月31日) 6 ミニレクチャー「酸素流量計」について 7 医療安全対策加算1について
第11回	平成31年3月13日	1 2月インシデント報告件数 2 2月医薬品点検結果報告 3 事例報告(ドライヤーによる熱傷) 4 総合相談窓口への要望・苦情等件数 5 医療事故調査制度に係る「死亡事例」報告(平成31年2月1日～2月28日) 6 医療安全ラウンド実施報告 7 附属専門チーム活動報告 8 確認行為のアンケート結果報告 9 救急カート滅菌手袋の変更 10 BLS講習会の今後の考え方について 11 医療安全管理マニュアルの改訂について

(3)安全管理研修等の開催状況

脳卒中・神経脊椎センター

開催月	開催内容	対象者	参加職種	合計	
5月	第1回 医療安全・感染・医薬品・医療機器 安全管理研修 「マニュアル・手順書改訂のポイント」 [講師:臨床工学担当係長:青柳、画像診断部担当係長:戸田、薬剤担当係長:五十嵐、医療安全管理室担当係長:清水] (5月9日本研修)	全職員	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 臨床工学技士 PT・OT・ST 診療放射線技師 PT,OT,ST 介護福祉士 看護補助者 MSW 委託 その他(職種記名なし)	7名 60名 10名 2名 3名 32名 1名 10名 1名 0名 1名 12名 1名	140名
	第1回 医療安全・感染・医薬品・医療機器 安全管理研修 「マニュアル・手順書改訂のポイント」 (5月14・17・21・23・31日)	本研修未受講者	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 診療放射線技師 PT・OT・ST 栄養士 MSW 事務 介護福祉士 看護補助者 委託 その他(職種記名なし)	4名 184名 7名 10名 14名 50名 3名 7名 33名 2名 31名 85名 9名	439名
	第1回 医療安全・感染・医薬品・医療機器安全管理研修 フォローアップ (資料配布・アンケート回収)	本研修・DVD フォローアップ 研修未受講者		86名	86名
6月	看護補助者研修 「感染防止対策」 [講師:医療安全管理担当係長:清水] (6月4・18日、7月20日)	看護補助者	看護補助者 介護福祉士	32名 1名	33名
7月	第2回医療安全管理研修 「医療従事者の記録について」 [講師:SOMPOリスケアマネジメント株式会社 永吉旭土] (7月13日)	全職種	医師 看護師 薬剤師 看護補助者 介護福祉士 PT・OT・ST 臨床工学技士技師 栄養士 MSW 事務 委託	7名 59名 9名 3名 1名 37名 3名 2名 3名 9名 5名	138名

開催月	開催内容	対象者	参加職種	合計	
10月	第2回 感染・医薬品・医療機器安全管理研修「冬季感染症の予防について～職場でも家庭でも使える知識～」 「ワクチンに関する知識」「車椅子の安全管理」 [講師:看護部:小泉感染管理認定看護師 薬剤部:感染制御専門薬剤師抗菌化学療法認定薬剤師:原 リハビリテーション部 (車椅子クリニックチーム):矢野理学療法士] (10月5日本研修)	全職員	医師 看護師 看護補助者 介護福祉士 薬剤師 臨床検査技師 栄養士 PT・OT・ST 臨床工学技士 事務 委託	3名 40名 3名 1名 9名 3名 2名 27名 1名 7名 9名	105名
	第2回 感染・医薬品・医療機器安全管理研修「冬季感染症の予防について～職場でも家庭でも使える知識～」 「ワクチンに関する知識」「車椅子の安全管理」(DVDフォローアップ研修) (10月15・18・22・29・30日)	本研修未受講者	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 診療放射線技師 PT・OT・ST 臨床工学技士 栄養士 MSW 事務 介護福祉士 看護補助者 委託 その他(職種記名なし)	9名 181名 8名 9名 15名 52名 1名 0名 8名 38名 1名 29名 95名 2名	448名
	第2回 感染・医薬品・医療機器安全管理研修フォローアップ(資料配布・アンケート回収)	本研修・DVDフォローアップ研修未受講者		110名	110名
11月	第2回 医療安全管理研修 「医療従事者の記録について」 [講師:SOMPOリスクアマネジメント株式会社 山崎堅司]	全職種・全職員	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 PT・OT・ST 臨床工学技士 MSW 事務 委託	2名 19名 2名 1名 4名 1名 1名 1名 3名	34名

開催月	開催内容	対象者	参加職種	合計	
11月	第2回 医療安全管理研修 「医療従事者の記録について」(DVDフォローアップ研修) (11月28・29日、12月3・4・7日)	本研修未受講者	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 診療放射線技師 PT・OT・ST 栄養士 栄養士 MSW 事務 介護福祉士 看護補助者 その他(職種記名なし) 委託	3名 153名 12名 11名 15名 32名 3名 4名 5名 33名 2名 19名 5名 97名	394名
	第2回 医療安全管理研修フォローアップ (資料配布・アンケート回収)	本研修・DVD フォローアップ 研修未受講者		113名	113名
	【ワークショップ】講義・演習(挿管、挿管介助、NPPVマスクフィット体験・RRS、酸素療法、CPRアシストを用いた心臓マッサージ実習)[講師:EST/RST](11月30日)	全職員	医師 看護師 その他	9名 45名 12名	66名
			合計	2,106名	

安全管理オリエンテーション(雇入れ時研修)

開催月	開催内容	対象者	参加職種	合計	
4月	医療安全管理体制と医療安全対策 [講師:安全管理担当]	新採用職員	医師 看護師 リハビリテーション部 薬剤部	4名 19名 5名 1名	29名
		新採用・異動職員	事務職	8名	8名
		転入・昇任職員	看護師 リハビリテーション部 事務職	1名 1名 3名	5名
通年	医療安全管理体制と医療安全対策 [講師:安全管理担当]	新採用職員	看護師 医師	2名 1名	3名
	当院の医療安全・感染対策 [講師:安全管理担当]	臨床研修医	医師	8名	8名
			合計	53名	

(4) インシデント報告の状況

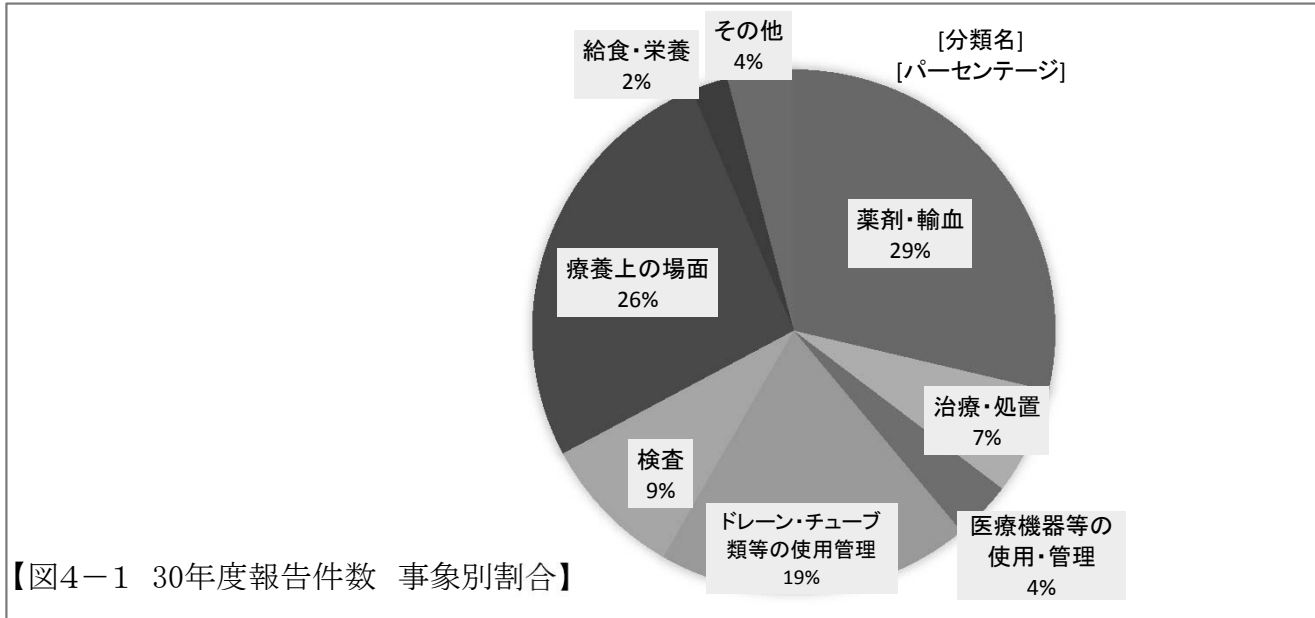
30年度 延べ入院患者 85,091人、延べ外来患者数 45,750人(脳ドック含む)

29年度 延べ入院患者 85,023人、延べ外来患者数 45,811人(脳ドック含む)

【表4-1 事象別インシデント報告前年度比較】

インシデント報告	30年度	29年度	増▲減	30年度 構成比
		1415件	1,534件	▲119
指示・情報伝達	-	72件	▲72	0.0%
薬剤・輸血	407件	457件	▲50	(28.76%)
(内訳)				
処方	41件	34件	7	2.90%
調剤・製剤管理等	33件	65件	▲32	2.33%
与薬(注射・点滴・中心静脈注射)	102件	118件	▲16	7.21%
与薬(内服薬)	193件	204件	▲11	13.63%
与薬(その他)	26件	30件	▲4	1.84%
麻薬	5件	3件	2	0.35%
輸血・血液製剤	7件	3件	4	0.49%
治療・処置	94件	73件	21	6.64%
医療機器等の使用・管理	51件	33件	18	3.60%
ドレーン・チューブ類等の使用・管理	275件	339件	▲64	19.43%
検査	126件	77件	49	8.90%
療養上の場面	372件	414件	▲42	(26.29%)
(内訳)				
転倒・転落	304件	350件	▲42	21.48%
その他	68件	64件	4	4.81%
給食・栄養	32件	20件	12	2.26%
その他	58件	49件	5	4.10%

※「指示・情報伝達」の項目は、電子カルテ更新に伴い、30年度からは、関連する他の項目に振り分けてカウントしている。



【表4-2 インシデント報告における職種別割合】

単位(%)

看護師・助産師	87.8
医師	0.6
薬剤師	2.5
その他	9.1
合計	100.0

3 みなと赤十字病院

取組の概要

平成30年度のテーマは「安全の底力を上げる/ルール順守」でした。
error 発生 of 未然防止策として、日常的に基本的な手順やルール順守が大切であることを認識することが目的でした。

次に年間目標に沿って報告します。

I. 医療安全の知識習得

全職員対象の講演会は予定通り開催しました。第1回医療安全講演会出席率は86%、第2回の研修会 e-learning は87%の受講率であり年度目標値を達成できました。「コードブルーシステム」に関わる研修会は恒例的に実施しています。職員への浸透もよく昨年度は医療職以外のコールが6件ありました。発見から要請までの時間が患者の予後に影響することが浸透している事、講師の武居副院長が「Thank you for calling!!」と受講者に伝えることで躊躇せずに要請できる環境が整ってきたことは、研修の成果であると考えます。

e-learning はPC・スマートフォンなどを使用し、定刻開催ではなく時間に縛られない形式が受講環境の自由度を高め、受講率達成につながったと思われます。職種別に受講コンテンツを変え、普段の業務をイメージできるよう工夫したことも興味を引いたと思われます。

II. 安全な医療の提供

ドレーン・チューブ・薬剤・転倒・転落はインシデント・アクシデント報告の3大項目です。手順の遵守や適切なアセスメントは定期的な調査や事例を通して見直す機会となっています。また、麻薬関連エラーについて与薬にかかわる全工程・職種で対策を講じる必要があり、指示の標準化から与薬時の確認方法までを見直し、マニュアルの改訂にも取り組みました。これは次年度も継続して取り組みます。

ドレーン・チューブ抜去、転倒・転落の背景要因であるせん妄について対策チームが発足し、活動開始となりました。

III. マニュアル活用

定期的な見直しと必要に応じた随時見直しを行いました。今年度も臨床で実際に実施されている業務内容とマニュアルが乖離しないよう検討しました。また、事例発生時には、マニュアルや手順に戻ることを推奨しており、日常的に現状と安全管理マニュアル、部門のマニュアルにズレが生じないように改訂しました。

(1)主な改善項目

みなと赤十字病院

	検討項目	改善内容
教育	全職員対象医療安全研修会	研修方法を従来の集合研修とe-learningとしました。E-learningは定刻開催ではないため、受講のための時間的拘束がない・受講内容の理解度はコンテンツごとのテストがあるなどにより、より個々にフィットした形で受講が可能になりました。初めての試みであったため企画者・受講者とも戸惑うこともありましたが、最終的に受講率は86.5%（昨年度比+5.5%）となりました。
薬剤	麻薬持続皮下注射	シリンジや接続ルートの取り扱いに関し看護手順を見直し、ルールの一掃を図りました。
	KCL投与	原液投与を原則禁止しました。標準処方パターンに則り処方指示をすることとしました。
	処方	処方チェックシステム(IRIS)導入により処方における医療安全の取り組み強化しました。
	注射ラベル (患者シール)	救急外来、カテ室など注射伝票・ラベルを即時に準備できない場合の輸液投与時、内容物と患者氏名が明記されるようラベルを導入しました。
ケア	せん妄対策	せん妄対応チームを立ち上げました。
手術	遺残防止	ガーゼ、医療材料等の遺残防止マニュアルを改訂しました。
医療機器	酸素ボンベ残量確認	酸素ボンベ使用前のチェックと残量の早見表はこれまでもありましたが、残量・残使用時間を記載できる簡易シートを導入しました。
	人工心肺トラブル対応	アクシデント発生時の対応について教育用の動画を作成し、MEの教育を実施しました。
検査	MR I 撮影時の持ち込み物品確認	MR I 撮影時に補聴器の確認方法を改訂しました。
	パニック値の連絡	検査課から医師への連絡方法を整理しました。
	腎生検病理結果報告	報告までのフローを整理しました。
	画像診断	未読防止のため、電子カルテ上の対策を改善しました。（翌年完成予定）
	救急外来の画像診断	未読防止のための対策を整理しました。
マニュアル	安全マニュアル	機能と整合するよう組織図を修正しました。
設備	監視カメラ	設置場所や情報の集約を含めて検討し、再度設置しました。

(2)安全管理に係る委員会等の活動状況

みなと赤十字病院

開催回	開催日	主な議題
第1回	平成30年4月24日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年度インシデントアクシデント報告 2 平成29年度活動報告 3 内視鏡室の重症事例数 4 死亡症例について 5 事例報告 6 継続対応事例に関する報告 7 患者対応報告(29年度のまとめ) 8 平成30年度計画 9 その他
第2回	平成30年5月21日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年4月インシデントアクシデント報告 2 内視鏡室の重症事例数 3 死亡症例について 4 事例報告 5 その他
第3回	平成30年6月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年5月インシデントアクシデント報告 2 内視鏡室の重症事例数 3 死亡症例について 4 事例報告 5 安全研修会について
第4回	平成30年7月23日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年6月インシデントアクシデント報告 2 与薬調査結果報告 3 内視鏡室の重症事例数 4 死亡症例について 5 事例報告 6 その他
第5回	平成30年8月27日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年7月インシデントアクシデント報告 2 内視鏡室の重症事例数 3 死亡症例について 4 平成29年度患者対応件数について 5 事例報告 6 安全管理マニュアル改訂 7 その他
第6回	平成30年9月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年8月インシデントアクシデント報告 2 内視鏡室の重症事例数 3 死亡症例について 4 転倒転落調査結果報告 5 事例報告 6 その他

開催回	開催日	主な議題
第7回	平成30年10月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年9月インシデントアクシデント報告 2 内視鏡室の重症事例数 3 死亡症例について 4 前期評価 5 患者安全推進検討会議活動報告 6 安全管理マニュアルについて 7 事例報告
第8回	平成30年11月27日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年10月インシデントアクシデント報告 2 内視鏡室の重症事例数 3 死亡症例について 4 事例報告
第9回	平成30年12月17日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年11月インシデントアクシデント報告 2 内視鏡室の重症事例数 3 死亡症例について 4 医療安全対策地域連携加算相互ラウンド 5 事例報告 6 マニュアル改訂
第10回	平成31年1月21日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年12月インシデントアクシデント報告 2 内視鏡室の重症事例数 3 死亡症例について 4 酸素ボンベについて 5 事例報告 6 その他
第11回	平成31年2月18日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成31年1月インシデントアクシデント報告 2 内視鏡室の重症事例数 3 死亡症例について 4 報告事例への対策について 5 事例報告 6 対応継続事例について
第12回	平成31年3月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成31年2月インシデントアクシデント報告 2 内視鏡室の重症事例数 3 死亡症例について 4 安全取り組み発表会 5 指さし呼称取り組み結果 6 与薬調査結果報告 7 事例報告 8 対応継続事例について 9 年度評価 10 その他

(3)安全管理研修等の開催状況

みなと赤十字病院

開催月	内容	対象者	参加職種	合計	
4月	静脈注射研修	看護師既卒	看護師	21名	21名
	集合看護技術研修	看護師新卒	看護師	61名	61名
	モーニングセミナー(心エコー)	研修医・検査技師	研修医・検査技師	31名	31名
	モーニングセミナー(腹部エコー)	研修医・検査技師	研修医・検査技師	33名	33名
	医療機器(輸液ポンプ・シリンジポンプ)の安全使用の 為の研修	看護師既卒	看護師	20名	20名
	医療機器(PCAポンプ)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	9名	9名
	医療機器(除細動器)の安全使用の為の研修	ME	ME	12名	12名
	医療機器(配膳車)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	56名	56名
	医療機器(ベッドサイド・セントラルモニタ・テレメータ 送信機)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	6名	6名
	医療機器(除細動器)の安全使用の為の研修	医師・看護師	医師・看護師	43名	43名
	医療機器(電気メス・リガシユア)の安全使用の為の研 修	看護師	看護師	17名	17名
	医療機器(電気メス・アルゴンレーザ・IO電極)の安全 使用の為の研修	看護師	看護師	18名	18名
医療機器(ハーモニック)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	11名	11名	
5月	院内講師(看護師)によるRM研修会「赤十字医療施 設で取り組む医療安全」	リスクマネージャー(医師以 外)	リスクマネージャー(医師 以外)	13名	13名
	RM委員会医療機器安全レクチャー「医療法が定める 医療機器の安全管理について」	リスクマネージャー	リスクマネージャー	34名	34名
	モーニングセミナー(心エコー)	研修医・研修歯科医	研修医・検査技師	31名	31名
	モーニングセミナー(腹部エコー)	研修医・研修歯科医	研修医・検査技師	33名	33名
	医療機器(輸液・シリンジポンプ)の安全使用の為の研 修	看護師新卒	看護師	62名	62名
	医療機器(血糖測定器)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	8名	8名
	医療機器(ベッドサイド・セントラルモニタ・フットポン プ)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	4名	4名
	医療機器(除細動器)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	7名	7名
6月	医療安全講演会「コードブルーシステム 当院の現状 と展望」	全職員	医師・看護師・薬剤師・検 査技師・放射線技師・事 務他	1093名	1093名
	医療機器(輸液ポンプ・シリンジポンプ)の安全使用の 為の研修	看護師既卒	看護師	1名	1名
	医療機器(手術ベッド)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	22名	22名
	医療機器(輸液・シリンジポンプ)の安全使用の為の 研修	看護師	看護師	21名	21名
	医療機器(ナビゲータGPS)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	13名	13名
	医療機器(透析関連装置)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	1名	1名
	医療機器(オートセットCS)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	7名	7名
	医療機器(レナシスタッチ陰圧維持管理装置)の安全 使用の為の研修	看護師	看護師	13名	13名
	医療機器(オートセットCS-A)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	15名	15名
医療機器(ベッドサイド・セントラルモニタ・テレメータ 送信機)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	4名	4名	

開催月	内容	対象者	参加職種	合計	
7月	院内講師(看護師)によるRM研修会「要因分析」	リスクマネージャー(医師以外)	リスクマネージャー(医師以外)	11名	11名
	RM委員会医療機器安全レクチャー「医療機器安全情報の発信」	リスクマネージャー	リスクマネージャー	37名	37名
	医療機器(輸液ポンプ・シリンジポンプ)の安全使用の為の研修	看護師既卒	看護師	2名	2名
	医療機器(標準12誘導心電図ECG9422)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	4名	4名
	医療機器(経皮ガスモニタ)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	8名	8名
	医療機器(オートセットCS-A)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	17名	17名
	医療機器(神経刺激装置)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	13名	13名
	医療機器(除細動器・十二誘導心電図)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	3名	3名
	医療機器(介護浴室)の安全使用の為の研修	看護師・看護助手	看護師・看護助手	190名	190名
8月	院内講師(看護師)によるRM研修会「医療安全推進担当者の役割」	リスクマネージャー(医師以外)	リスクマネージャー(医師以外)	8名	8名
	RM委員会医療機器安全レクチャー「医療機器添付文書の更新ルール」	リスクマネージャー	リスクマネージャー	32名	32名
9月	院内講師(看護師)によるRM研修会「ヒューマンエラー」	リスクマネージャー(医師以外)	リスクマネージャー(医師以外)	13名	13名
10月	院内講師(看護師)によるRM研修会「危険予知トレーニング」	リスクマネージャー(医師以外)	リスクマネージャー(医師以外)	12名	12名
	医療機器(気切カニューレ)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	18名	18名
	医療機器(人工呼吸器)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	13名	13名
	医療機器(セントラルモニタ・ベッドサイドモニタ・テレメータ送信機)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	26名	26名
11月	院内講師(医師)による裁判事例の学習会	リスクマネージャー(医師)	医師・看護師	7名	7名
	全職員対象医療安全講演会(e-learning)	全職員	医師・看護師・薬剤師・検査技師・放射線技師・事務他	1116名	1116名
	医療機器(セントラルモニタ・ベッドサイドモニタ・テレメータ送信機)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	118名	118名
	医療機器(Evaqua2)の安全使用の為の研修	医師・看護師	医師・看護師	9名	9名
	医療機器(人工呼吸器)の安全使用の為の研修	理学療法士・作業療法士	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	6名	6名
12月	院内講師(看護師)によるRM研修会「苦情対応の基本」	リスクマネージャー(医師以外)	リスクマネージャー(医師以外)	11名	11名
	RM委員会医療機器安全レクチャー「ベッドサイドモニターDS-8100安全使用について」	リスクマネージャー	リスクマネージャー	35名	35名
	医療機器(セントラルモニタ・ベッドサイドモニタ・テレメータ送信機)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	26名	26名
	医療機器(電気メス)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	26名	26名
1月	院内講師(看護師)によるRM研修会「医療事故・紛争発生時の対応」	リスクマネージャー(医師以外)	リスクマネージャー(医師以外)	11名	11名
	院内講師(医師)による医療安全講演会	医師	医師	82名	82名
	医療機器(シリンジポンプ・除細動器)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	8名	8名
	医療機器(ハマサーボドレイン)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	82名	82名
	医療機器(ASV)の安全使用の為の研修	看護師・理学療法士	看護師・理学療法士・作業療法士	36名	36名
2月	院内講師(看護師)によるRM研修会「コミュニケーション」	リスクマネージャー(医師以外)	リスクマネージャー(医師以外)	14名	14名
	コードブルーメディカルラリー	全職員	全職員	121名	121名
	医療機器(SNAP)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	50名	50名
	医療機器(トリロジー)の安全使用の為の研修	医師・看護師	医師・看護師	23名	23名
	医療機器(膀胱用超音波画像診断装置)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	49名	49名
	医療機器(人工呼吸器)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	15名	15名
	医療機器(カーリナ)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	28名	28名
	院内講師(薬剤師・臨床工学技士・臨床検査技師・放射線技師)による医療安全講演会「医薬品・医療機器の安全管理について」	医療職	医療職	77名	77名

開催月	内容	対象者	参加職種	合計
3月	内視鏡室急変時対応研修	医師・看護師・放射線技師	医師・看護師・放射線技師	18名
	医療機器(ブラダースキャン)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	16名
	医療機器(フットポンプ)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	23名
	医療機器(ADP-01CART)の安全使用の為の研修	ME	ME	12名
	医療機器(ザビーナ)の安全使用の為の研修	看護師	看護師	9名
合計				4195名

安全管理オリエンテーション(受け入れ研修)

開催月	内容	対象者	参加職種	合計
4月	医療安全と管理室	新採用	全体	174名
	医療安全対策講演会	新採用医師	医師	75名
	CVC院内ライセンス制度と院内急変対応システムについて	新採用医師	医師	75名
	研修医向けICLS(除細動器研修含む)	新採用研修医	研修医	23名
	「輸液ポンプシリンジポンプ」「人工呼吸器の取扱い」「セントラルモニターの使用」「酸素療法:酸素療法に使用する機器」「CT・MRI・レントゲン等」	新採用研修医	研修医	23名
	医療機器の安全管理について	新採用医師	医師	75名
	医療機器の安全管理について	新採用医療技術職	新規採用医療技術職	8名
	医療機器の安全管理について	新採用看護師	看護師	77名
	医療安全推進課の業務について	新採用事務	事務	9名
	看護行為と医療安全	新採用看護師	看護師	61名
	KYT チームステップス	新採用既卒看護師	看護師	21名
	KYT・ヒューマンエラー	新採用	全体	92名
合計				713名

(4) インシデント報告の状況

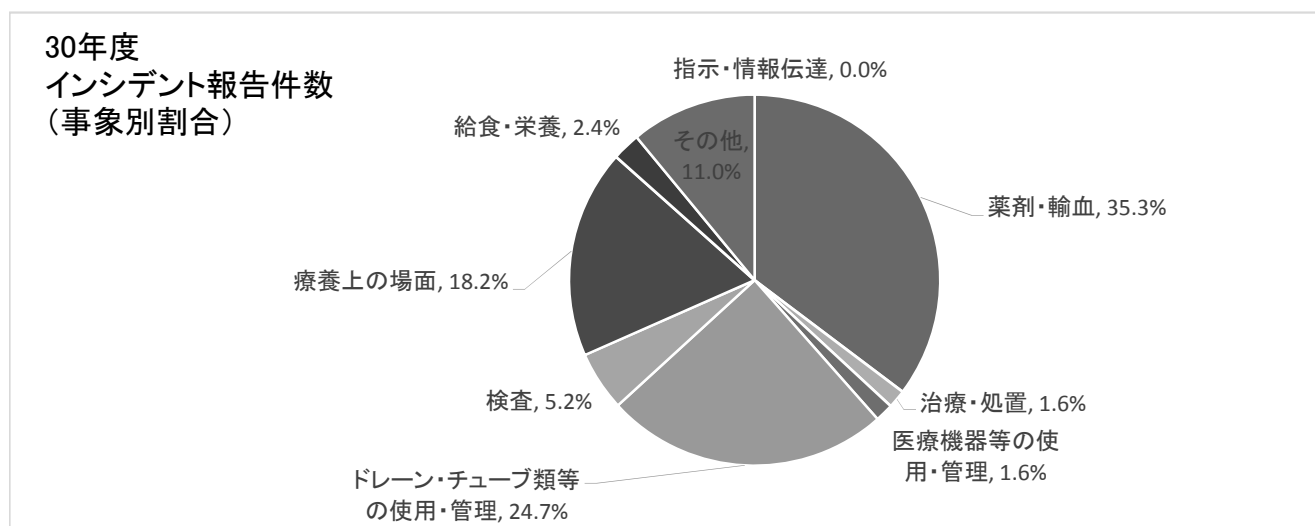
みなと赤十字病院

30年度 延べ入院患者 196,302人、延べ外来患者数 283,205人

29年度 延べ入院患者 189,348人、延べ外来患者数 280,043人

(件数)

インシデント報告件数	29年度	30年度	増減	30年度 構成比
		3,960件	3,971件	11
指示・情報伝達	-	-	0	0.0%
薬剤・輸血	1,358件	1,401件	43	35.3%
(内訳)				
処方	44件	39件	▲ 5	1.0%
調剤・製剤管理等	52件	53件	1	1.3%
与薬(注射・点滴・中心静脈注射)	455件	490件	35	12.3%
与薬(内服薬)	796件	806件	10	20.3%
与薬(その他)	-	-	0	0.0%
麻薬	-	-	0	0.0%
輸血・血液製剤	11件	13件	2	0.3%
治療・処置	78件	64件	▲ 14	1.6%
医療機器等の使用・管理	83件	63件	▲ 20	1.6%
ドレーン・チューブ類等の使用・管理	977件	982件	5	24.7%
検査	194件	206件	12	5.2%
療養上の場面	756件	722件	▲ 34	18.2%
(内訳)				
転倒・転落	740件	695件	▲ 45	17.5%
その他	16件	27件	11	0.7%
給食・栄養	92件	97件	5	2.4%
その他	422件	436件	14	11.0%



【30年度インシデント報告における職種別割合】

看護師・助産師	91.6%
医師	2.1%
薬剤師	2.0%
その他	4.3%
合計	100.0%